

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2015年6月4日

No.26

会社：現時点、今年の夏季手当並みを検討している。
組合：ふざけるな！これまでの組合員の苦勞に真摯に答えよ！

— 2015年度 夏季手当第4回交渉報告 —

中央本部は、本日11時から第4回夏季手当交渉を行い、会社は現時点の考え方を示しました。

- ①平成26年度決算は32億円の経常黒字であったが、平成25年度に比べれば減収減益となっている。
- ②また直近の営業成績では5月は対計画95.3%で4億円強の収入未達であり、6月は3日時点で対計画比1500万円の未達となっている。引き続き収入確保に向けて全力を傾注する。
- ③一方、経費面では動力費や線路使用料の大幅な値上げが計画されており、昨年度比37億円の増加が見込まれている。
- ④夏季手当については今年の夏季手当を基本に、これまでの議論における指摘や貴組合の主張を含めて回答指定日に向け、最終回答を示したい。

**「満額回答で組合員の苦勞に報いよ！
現時点の会社の考えでは議論出来ない！」**

会社の考え方に対して中央本部は、以下の点について主張しました。

- ①これまでの議論を踏まえて具体的な数値を示すべきだ。交渉の中で今年度の収入計画は達成可能と断言した。収入未達は経営陣の責任であり、昨年度を基本にする根拠にはならない。
- ②我々は会社施策に対して、これまで真摯な姿勢で取り組み、大変な苦勞をして結果も出してきた。会社がこれまで生活給としている1.5ヶ月を過去2年間下回ったことは会社の責任である。下回った額について我々は未払い金と考えており、夏季手当において支払うべきだ。
- ③我々はこの1年間あらゆる場面で汗を流し、時には血を流してきた。それはこの会社を飯の食える企業にするために、自らが努力をしてきたという自負を持っている。本日会社が示した考え方では到底納得できない。本日の組合の主張を踏まえて回答すること。

以上3点を通告し、交渉を終了しました。

組合員のみなさん！今日以降、山場の闘いに突入しました。全組合員が結集し、一丸となってこれまで苦勞してきた想いを会社経営陣に突き付けようではありませんか！中央本部はその最前頭に立って闘うことを決意し、第4回交渉報告とします。

次回交渉（回答指定日）は6月12日（金）です。